

平成 30 年度

事業報告書

決算書

目 次

I - I. 平成 30 年度事業報告書	
1. 事業概況（平成 30 年度を振り返って）	3
2. 総 裁	3
3. 役員構成	3
4. 会員数	3
5. 会議等	4
6. 登記事項	4
7. 組織及び職員数	5
8. 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈	6
9. 発明奨励振興事業	6
(1) 全国発明表彰	6
(2) 地方発明表彰	7
(3) 戦後日本のイノベーション 100 選	7
10. 青少年創造性開発育成事業	8
(1) 第 77 回全日本学生児童発明くふう展	8
(2) 第 40 回未来の科学の夢絵画展	8
(3) 未来の科学の夢絵画展 ネット美術館	9
(4) 少年少女発明クラブ事業	9
(5) 第 9 回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト	10
(6) 第 62 回東京都児童生徒発明くふう展	10
(7) 発明の日及び科学技術週間協賛事業	10
(8) 青少年創造性開発育成委員会	10
(9) 青少年創造性開発育成事業へのご協賛	11
11. 知的財産権制度普及等事業	11
国際知的財産保護フォーラム	11
12. 地域機関との相互連携	11
発明協会会長等懇談会（8 地方ブロック）	11
13. 関係省庁への協力	11
(1) 文部科学省表彰関係事業への協力	11
(2) 特許庁知財功労賞への協力	11
14. 東京発明推進協議会の活動	11
15. 国際交流の推進	12
16. 公益事業の広報活動	12
17. 事務所の移転	12
I - II. 事業報告書の附属明細書	
事業報告書の附属明細書	13
II. 平成 30 年度決算書	
貸借対照表	15
正味財産増減計算書	16
正味財産増減計算書内訳表	17
財務諸表に対する注記	18
附属明細書	19
財産目録	20
収支計算書	22
収支計算書（資金ベース）	23

I. 平成 30 年度事業報告書

1. 事業概況（平成 30 年度を振り返って）

当協会は、我が国科学技術の振興と産業経済の発展に寄与すべく、発明の奨励、青少年の創造性開発育成、知的財産権制度普及等の公益事業を着実に推進するため、平成 30 年度においても、皇室より御下賜金を拝受し、全国発明表彰においては恩賜発明賞を、全日本学生児童発明くふう展においては恩賜記念賞をそれぞれ最も優秀な発明及び作品に贈呈した。

発明奨励振興事業においては、全国発明表彰及び地方発明表彰を、青少年創造性開発育成事業においては、企業等からの協賛を得て、全日本学生児童発明くふう展、未来の科学の夢絵画展、全国少年少女チャレンジ創造コンテスト、少年少女発明クラブ事業等を実施した。

加えて、虎ノ門一・二丁目地区の再開発工事に伴い事務所の移転を行った。

以下、平成 30 年度の事業について報告する。

2. 総 裁 常 陸 宮 殿 下

3. 役 員 構 成 （平成 31 年 3 月 31 日現在）

会 長	1 名	（代表理事）
副 会 長	6 名	（うち 1 名代表理事）
専務理事	1 名	（業務執行理事）
常務理事	2 名	（業務執行理事）
理 事	35 名	
監 査 役	2 名	
特別顧問	3 名	
顧 問	2 名	
参 与	1 名	
幹 事	143 名	

4. 会 員 数 （平成 31 年 3 月 31 日現在）

430 社・名

5. 会 議 等

(1) 定時総会

日 時 平成 30 年 6 月 12 日 13 : 15 ~ 13 : 50
場 所 ホテルオークラ東京 別館地下 2 階「アスコットホールⅡ」
議 事 <決議事項>
第 1 号議案 平成 29 年度事業報告及び決算承認の件
第 2 号議案 理事選任の件
<報告事項>
平成 30 年度事業計画及び同収支予算報告の件

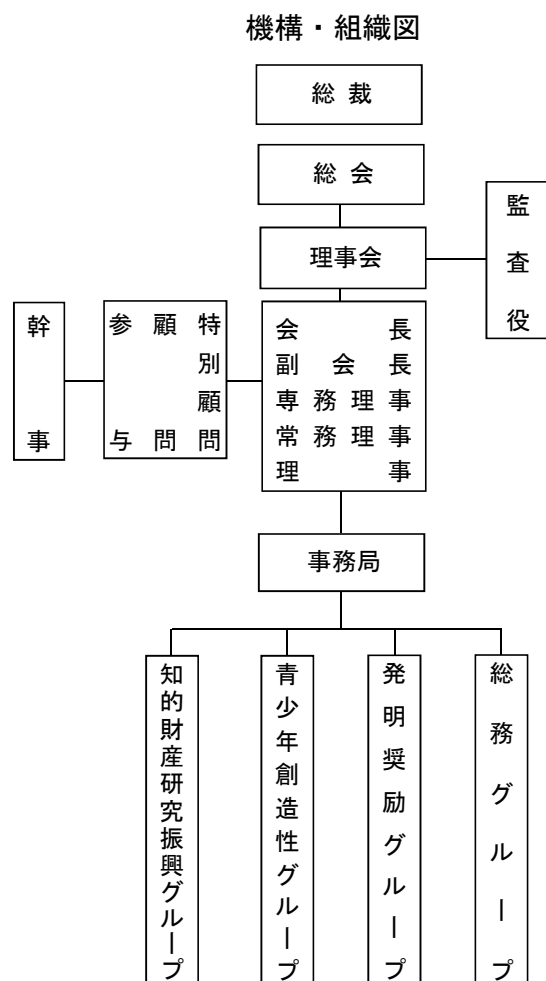
(2) 理事会

- ① 日 時 平成 30 年 5 月 17 日 12 : 20 ~ 13 : 20
場 所 霞山会館「霞山の間」
議 題 (1) 平成 29 年度事業報告及び決算 (案) について
(2) 理事選任 (案) について
(3) 定時総会の招集 (案) について
(4) 公益目的事業の一部廃止に伴う変更認定申請について
(5) 幹事の推薦について
報告事項 (1) 代表理事等の職務執行状況
(2) 一般社団法人発明推進協会からの特定寄附受入
(3) 平成 29 年度 青少年創造性開発育成事業へのご協賛
(4) 平成 30 年度 公益財団法人 J K A 補助事業
(5) その他
- ② 日 時 平成 30 年 6 月 12 日 14 : 05 ~ 14 : 15
場 所 ホテルオークラ東京 別館地下 2 階「アスコットホールⅢ」
議 題 (1) 特別顧問、顧問及び参与の推薦について
(2) 幹事の推薦について
- ③ 日 時 平成 31 年 3 月 18 日 12 : 20 ~ 13 : 30
場 所 霞山会館「霞山の間」
議 題 (1) 2019 年度事業計画・同収支予算 (案) について
(2) 規程の改正 (案) について
報告事項 (1) 代表理事等の職務執行状況
(2) その他
- ④ 理事会の省略による決議の方法により、当該議案が議決された。
議 案 主たる事務所の移転に関する件
決議日があったものと見なされた日 平成 31 年 1 月 30 日

6. 登 記 事 項

役員変更登記 平成 30 年 6 月 26 日
事務所変更登記 平成 31 年 3 月 25 日

7. 組織及び職員数 （平成 31 年 3 月 31 日現在）



職員数 20 名

8. 恩賜発明賞・恩賜記念賞の贈呈

平成 30 年度全国発明表彰において、独創性に富む極めて優れた発明により我が国科学技術の振興と産業の発展に大きく貢献した発明者に恩賜発明賞を、また、第 77 回全日本学生児童発明くふう展において、最も優秀な作品の創作者に恩賜記念賞を贈り、その栄誉をたたえた。

○恩賜発明賞 「有機 EL 素子及び有機発光媒体の発明」

松浦 正英 出光興産株式会社

舟橋 正和 出光興産株式会社

福岡 賢一 出光電子材料韓国株式会社

○恩賜記念賞 「避難用縄バシゴ「斜楽」」

道脇 愛羽 私立聖徳学園小学校 5 年

9. 発明奨励振興事業

(1) 全国発明表彰

主催 発明協会

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会、朝日新聞社

平成 30 年度は、地域の発明協会、企業、関係団体等からの推薦により、平成 30 年 1 月 29 日から 3 月 6 日にかけて機械・化学・電気・意匠及び 21 世紀専門部会を経て、平成 30 年 4 月 12 日の選考委員会において、第 1 表彰区分として恩賜発明賞、内閣総理大臣賞等の特別賞ほか各賞を、第 2 表彰区分として 21 世紀発明賞、21 世紀発明奨励賞を選考した。

また、恩賜発明賞、内閣総理大臣賞等特別賞を受賞した法人の代表者に発明実施功績賞を、21 世紀発明賞、21 世紀発明奨励賞を受賞した法人の代表者に 21 世紀発明貢献賞をそれぞれ贈呈した。

表彰式は、平成 30 年 6 月 12 日にホテルオークラ東京において、総裁常陸宮殿下 御臨席のもと、西村内閣官房副長官、戸谷文部科学事務次官、大串経済産業大臣政務官、小山特許庁総務部長をはじめとする来賓や各界から多数の参列者を得て挙行了した。

○第 1 表彰区分

恩賜発明賞	1 件 3 名	特別賞	9 件 37 名
-------	---------	-----	----------

発明賞	12 件 35 名	発明実施功績賞	10 件 10 名
-----	-----------	---------	-----------

○第 2 表彰区分

21 世紀発明賞	1 件 9 名	21 世紀発明奨励賞	3 件 9 名
----------	---------	------------	---------

21 世紀発明貢献賞	4 件 8 名
------------	---------

○発明奨励功労賞 11 名

なお、恩賜発明賞の受賞者には畠山一清賞を贈呈し、特別賞、21 世紀発明賞及び 21 世紀発明奨励賞受賞者にはそれぞれ副賞を贈呈した。

(2) 地方発明表彰

主催 発明協会
共催 46 道府県発明協会
後援 文部科学省、特許庁、中小企業庁、各経済産業局、北海道、福島県、
千葉県、石川県、和歌山県、岡山県、愛媛県、熊本県、日本弁理士会、
工業所有権電子情報化センター

平成 30 年度は、地域の発明協会から多数推薦された中から、平成 30 年 7 月 19 日に開催した中央選考委員会、8 月下旬に各地方で開催した地方選考委員会において各賞を選考した。

表彰式は、平成 30 年 10 月中旬から 11 月下旬にかけて以下のとおり挙行し、計 454 件、1,313 名を表彰した。

・北海道地方発明表彰式	10 月 30 日	北海道小樽市
・東北地方発明表彰式	10 月 15 日	福島県郡山市
・関東地方発明表彰式	11 月 8 日	千葉県浦安市
・中部地方発明表彰式	11 月 20 日	石川県金沢市
・近畿地方発明表彰式	11 月 21 日	和歌山県和歌山市
・中国地方発明表彰式	10 月 31 日	岡山県岡山市
・四国地方発明表彰式	10 月 23 日	愛媛県松山市
・九州地方発明表彰式	10 月 26 日	熊本県熊本市

(3) 戦後日本のイノベーション 100 選

引き続き、選定された 105 件のイノベーションに関する詳細な解説文を順次作成し、特設サイトへ掲載した。

10. 青少年創造性開発育成事業

(1) 第 77 回全日本学生児童発明くふう展

主催 発明協会

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、世界知的所有権機関、日本弁理士会、NHK、毎日新聞社、日本科学技術振興財団・科学技術館、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国工業高等学校長協会

平成 30 年度は、各地域で開催された発明くふう展等において優秀な成績を収めた作品を中心に地域の発明協会より推薦された 756 点の作品について、平成 31 年 1 月 10 日に審査幹事会、1 月 25 日に審査委員会を開催し、恩賜記念賞、内閣総理大臣賞等の特別賞ほか各賞を選考した。

展覧会は、平成 31 年 3 月 27 日から 3 月 31 日まで、東京・北の丸公園内の科学技術館イベントホールにおいて開催した。

表彰式は、平成 31 年 3 月 27 日に同館「サイエンスホール」において、総裁常陸宮殿下御臨席のもと、永岡文部科学副大臣、関経済産業副大臣、宗像特許庁長官をはじめ来賓多数の参列を得て挙行了した。

また、同展の開催にあわせて青少年創造性開発育成事業協賛企業等の協力により発明教室や特別展示等を開催し、多数の児童生徒がものづくりや科学に親しんだ。

・第 77 回全日本学生児童発明くふう展入賞作品

○恩賜記念賞 1 点 ○特別賞 13 点 ○奨励賞 20 点 ○入選 121 点

(2) 第 40 回未来の科学の夢絵画展

主催 発明協会

共催 国立科学博物館

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、NHK、朝日新聞社、朝日小学生新聞、朝日中高生新聞、日本美術教育連合、美育文化協会

平成 30 年度は、全国の小・中学校、幼稚園・保育園及び外国人学校の児童生徒から応募のあった 8,492 点の作品について、平成 30 年 2 月 20 日に審査委員会を開催し、文部科学大臣賞等の特別賞ほか各賞を選考した。

展覧会は、平成 30 年 4 月 10 日から 4 月 22 日にかけて東京上野・国立科学博物館において開催した。

表彰式は、平成 30 年 4 月 20 日に同館日本館講堂において、文部科学省より佐々木振興企画課奨励室長、特許庁より戸高総務部総務課長をはじめ来賓多数の参列を得て挙行了した。

・「小学校・中学校の部」

○特別賞 11 点 ○優秀賞 48 点 ○奨励賞 74 点

・「幼稚園・保育園の部」

○特別賞 1 点 ○優秀賞 5 点 ○奨励賞 40 点

・「外国人学校の部」

○特別賞 1 点 ○優秀賞 5 点 ○奨励賞 11 点

(3) 未来の科学の夢絵画展 ネット美術館

「未来の科学の夢絵画展」の受賞作品及び各国の公益機関等から推薦を受けた青少年の絵画作品をネット美術館（Web サイト）掲載し、本絵画展等の成果を広く発信した。

(4) 少年少女発明クラブ事業

① 少年少女発明クラブ

次の世代を担う人材を育成するため、平成 30 年度は、全国 210 ヶ所の発明クラブ（約 9,900 名のクラブ員、約 2,800 名の指導員）において創造性を育成する活動を行った。

② 全国少年少女発明クラブ創作展

全国の少年少女発明クラブで創作された作品の一般公開を通じて事業の周知を図るため、福島県郡山市において創作展を開催した。

- ・開催日：平成 30 年 10 月 13 日、14 日
- ・会 場：福島県産業交流館「ビッグパレットふくしま」

③ 第 83 回少年少女発明クラブ全国会議

少年少女発明クラブの指導・運営に携わる関係者を対象に、指導方法の情報交換等を目的とした全国会議を福島県郡山市において開催した。

- ・開催日：平成 30 年 10 月 12 日、13 日
- ・会 場：郡山ビューホテルアネックス
- ・出席者：全国各発明クラブ会長、指導員、地域の発明協会担当者等 145 名

④ 第 84 回少年少女発明クラブ全国会議

少年少女発明クラブの指導・運営に携わる関係者を対象に、青少年の創造性開発育成に関する諸課題について研究・討議する全国会議を東京都港区において開催した。

- ・開催日：平成 31 年 2 月 27 日
- ・会 場：発明会館ホール
- ・出席者：全国各発明クラブ会長、指導員、地域の発明協会担当者等 132 名

⑤ 少年少女発明クラブ指導員表彰

少年少女発明クラブにおける指導活動に多年従事し、青少年の創造性開発育成に関し特に功績のあった指導員 60 名（23 クラブ）を、第 84 回少年少女発明クラブ全国会議において表彰した。

⑥ 少年少女発明クラブ指導員研修会

少年少女発明クラブ指導員の資質の向上と情報交換を目的とした、ブロック別研修会（5 ブロック）及び都道府県別研修会（9 箇所）を開催した。

⑦ 少年少女発明クラブニュースの発行

少年少女発明クラブにおける創意工夫活動の成果、各種イベントの告知・報告等を掲載した「少年少女発明クラブニュース」を隔月（計 6 回）で発行し、全国の少年少女発明クラブ、地域の発明協会、地方自治体、科学館等を通じて広く一般に配布した。

⑧「はつめいキッズ」ホームページの運営

青少年の創造性開発育成活動の成果普及を図ることを目的に、少年少女発明クラブをはじめとした本事業全般を紹介するホームページ「はつめいキッズ」を運営した。

＊本事業の①、②、③、⑥、⑦、⑧については、競輪の補助を受けて実施した。

(5) 第9回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト

主催 発明協会

後援 文部科学省、経済産業省、特許庁、日本弁理士会、NHK、読売新聞社、
東京工業大学、全国連合小学校長会、全日本中学校長会

特別協賛 荏原製作所

平成30年度は、全国74地域で地区大会を開催し、594チームが参加した。その結果を踏まえ、平成30年10月1日にコンテスト委員会を開催し、全国大会に出場する60チームを選考した。

全国大会は、平成30年12月1日に東京都目黒区の東京工業大学屋内運動場において開催し、各チームの「からくりパフォーマンスカー」による競技終了後、特別賞（文部科学大臣賞・特許庁長官賞）ほか各賞を選考し、関係省庁、関係団体等の参列を得て表彰式を挙行了した。

・第9回全国少年少女チャレンジ創造コンテスト入賞チーム

○特別賞 2チーム ○優秀賞 9チーム

＊本事業は、競輪の補助を受けて実施した。

(6) 第62回東京都児童生徒発明くふう展

東京都からの受託事業として、第62回東京都児童生徒発明くふう展を開催した。展覧会は東京都千代田区の東京国際フォーラム・ロビーギャラリーにおいて平成30年12月13日から15日にかけて開催し、特別賞12点、優秀賞22点、入選56点の計90点を展示した。

表彰式は、平成30年12月15日に東京国際フォーラム G701 会議室にて開催し、上記の特別賞及び優秀賞受賞者並びに学校賞受賞校5校を表彰した。

(7) 発明の日及び科学技術週間協賛事業

発明の日（平成30年4月18日）及び科学技術週間（平成30年4月16日から22日）協賛事業として、当協会、地域の発明協会及び全国の少年少女発明クラブにおいて公開発明教室、発明クラブ作品展、無料発明相談会等を行った。

(8) 青少年創造性開発育成委員会

創造性開発育成事業の拡充・強化等について審議を行うため、「第38回青少年創造性開発育成委員会」を平成31年3月5日に発明会館会議室において開催した。

(9) 青少年創造性開発育成事業へのご協賛

当協会が行う青少年創造性開発育成事業について、広く産業界からの事業協賛を募り同事業の更なる充実を図った。

平成 30 年度においては、以下の協賛を得た。

- ・ゴールドスポンサー 12 社・団体
- ・シルバースポンサー 8 社
- ・ブロンズスポンサー 23 社
- ・寄附 5 社

11. 知的財産権制度普及等事業

国際知的財産保護フォーラム

国際知的財産保護フォーラム（IIPPF）の活動に企画委員として参画するとともに、平成 30 年 7 月 14 日に東京都中央区教育センターにて開催された「出張 IP カルチャー教室（青少年向け知的財産教室）」において「真正品、模倣品・海賊版の展示」を実施した。また、平成 30 年 9 月 22 日に第 47 回中央区児童・生徒発明くふう展会場において、平成 31 年 3 月 27 日から 31 日に第 77 回全日本学生児童発明くふう展会場において、それぞれ「真正品、模倣品・海賊版の展示」を実施した。

12. 地域機関との相互連携

発明協会会長等懇談会（8 地方ブロック）

全国で開催される地方発明表彰式にあわせ、平成 30 年 10 月中旬から 11 月下旬にかけて地域の発明協会会長等との懇談会を開催し意見交換を行った。

懇談会は、北海道地方・10 月 30 日、東北地方・10 月 15 日、関東地方・11 月 8 日、中部地方・11 月 20 日、近畿地方・11 月 21 日、中国地方・10 月 31 日、四国地方・10 月 23 日、九州地方・10 月 26 日の日程で開催した。

13. 関係省庁への協力

(1) 文部科学省表彰関係事業への協力

科学技術の振興と発明の普及に寄与するため、叙勲、褒章及び科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞（開発部門、技術部門等）の表彰対象者の調査並びに推薦を行った。

(2) 特許庁知財功労賞への協力

経済産業省・特許庁が実施した「知的財産権制度関係功労者表彰」及び「知的財産権制度活用優良企業等表彰」の表彰対象者等の調査並びに推薦を行った。

14. 東京発明推進協議会の活動

平成 31 年 1 月 16 日に新年賀詞交歓会を開催し、会員、来賓等との交流を図った。

15. 国際交流の推進

韓国発明振興協会(KIPA)との更なる協力体制の強化を図るため、発明推進協会とともに平成 30 年 12 月 5 日にソウルにて 2 か国会合を実施し、知財教育活動等について意見交換を行い、12 月 6 日には、KIPA 主催の Seoul International Invention Fair を視察した。加えて、韓国特許庁長官をはじめ、知的財産関連団体や法律事務所等を訪問し意見交換を行った。

16. 公益事業の広報活動

当協会機関紙「月報はつめい」を会員ほか広く一般に配付するとともにホームページにおいて広報活動に努めた。

17. 事務所の移転

虎ノ門一・二丁目地区第一種市街地再開発事業に伴い、平成 31 年 3 月 25 日に仮事務所への移転を行った。

I－II．事業報告書の附属明細書

平成 30 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和元年 5 月

公益社団法人 発明協会

貸 借 対 照 表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金及び預金	51,260,143	51,379,390	△ 119,247
未収入金	32,716,311	30,968,787	1,747,524
預け金	1,562,878	1,396,514	166,364
前払費用	0	1,062,153	△ 1,062,153
流動資産合計	85,539,332	84,806,844	732,488
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
青少年創造特定資産	6,000,000	6,000,000	0
退職給付引当資産	13,458,333	8,250,000	5,208,333
特定資産合計	19,458,333	14,250,000	5,208,333
(2) その他固定資産			
その他固定資産合計	0	0	0
固定資産合計	19,458,333	14,250,000	5,208,333
資産合計	104,997,665	99,056,844	5,940,821
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	11,068,304	11,126,032	△ 57,728
未払金	55,392,552	57,428,611	△ 2,036,059
前受金	4,940,000	7,270,000	△ 2,330,000
預り金	756,448	927,214	△ 170,766
流動負債合計	72,157,304	76,751,857	△ 4,594,553
2. 固定負債			
退職給付引当金	13,458,333	8,250,000	5,208,333
固定負債合計	13,458,333	8,250,000	5,208,333
負債合計	85,615,637	85,001,857	613,780
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
寄付金	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	19,382,028	14,054,987	5,327,041
(うち特定資産への充当額)	(6,000,000)	(6,000,000)	(0)
正味財産合計	19,382,028	14,054,987	5,327,041
負債及び正味財産合計	104,997,665	99,056,844	5,940,821

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
〔1〕経常増減の部			
1. 経常収益			
(1) 御 下 賜 金	50,000	50,000	0
(2) 受 取 会 費	31,050,000	31,580,000	△ 530,000
(3) 事 業 収 益	3,451,366	35,382,007	△ 31,930,641
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 収 益 (	3,451,366) (	35,382,007) (	△ 31,930,641)
(4) 受 取 補 助 金 等	28,717,783	30,909,547	△ 2,191,764
① J K A 補 助 金 (	28,717,783) (	30,909,547) (	△ 2,191,764)
(5) 受 取 寄 付 金・受 取 協 賛 金 等	262,090,779	257,652,816	4,437,963
① 資 金 寄 付 収 益 (	24,530,000) (	19,520,000) (	5,010,000)
② 協 賛 金 収 益 (	40,277,779) (	39,814,816) (	462,963)
③ 資 金 寄 付 振 替 額 (	27,015,000) (	28,050,000) (	△ 1,035,000)
④ 特 定 寄 付 収 益 (	170,268,000) (	170,268,000) (	0)
(6) 雑 収 益	999,764	246,674	753,090
① 雑 収 益 (	999,317) (	246,128) (	753,189)
② 受 取 利 息 (	447) (	546) (	△ 99)
経 常 収 益 計	326,359,692	355,821,044	△ 29,461,352
2. 経常費用			
(1) 事 業 費	279,352,551	331,166,118	△ 51,813,567
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 費 (	158,817,425) (	209,908,631) (	△ 51,091,206)
② 事 業 人 件 費 (	97,969,011) (	98,121,251) (	△ 152,240)
③ 事 業 事 務 費 (	22,566,115) (	23,136,236) (	△ 570,121)
(2) 管 理 費	41,680,100	44,355,076	△ 2,674,976
① 人 件 費 (	8,041,497) (	8,149,591) (	△ 108,094)
② 事 務 費 (	33,638,603) (	36,205,485) (	△ 2,566,882)
経 常 費 用 計	321,032,651	375,521,194	△ 54,488,543
当 期 経 常 増 減 額	5,327,041	△ 19,700,150	25,027,191
〔2〕経常外増減の部			
(1) 経 常 外 収 益	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	5,327,041	△ 19,700,150	25,027,191
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	14,054,987	33,755,137	△ 19,700,150
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	19,382,028	14,054,987	5,327,041
II 指定正味財産増減の部			
(1) 受 取 寄 付 金	27,015,000	28,050,000	△ 1,035,000
① 資 金 寄 付	27,015,000 (	28,050,000) (	△ 1,035,000)
(2) 一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 27,015,000	△ 28,050,000	1,035,000
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正味財産期末残高	19,382,028	14,054,987	5,327,041

正味財産増減計算書内訳表

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引 等消去	合計
	公1 発明奨励等	小計			
I 一般正味財産増減の部					
[1]経常増減の部					
1. 経常収益					
(1)御下賜金	50,000	50,000	0		50,000
(2)受取会費	15,525,000	15,525,000	15,525,000		31,050,000
(3)事業収益	3,451,366	3,451,366	0		3,451,366
①発明奨励等事業収益	(3,451,366)	(3,451,366)	()		(3,451,366)
(4)受取補助金等	28,717,783	28,717,783	0		28,717,783
①JKA補助金	(28,717,783)	(28,717,783)	()		(28,717,783)
(5)受取寄付金・受取協賛金等	231,608,402	231,608,402	30,482,377		262,090,779
①資金寄付収益	(20,691,497)	(20,691,497)	(3,838,503)		(24,530,000)
②協賛金収益	(40,277,779)	(40,277,779)	(0)		(40,277,779)
③資金寄付振替額	(27,015,000)	(27,015,000)	(0)		(27,015,000)
④特定寄付収益	(143,624,126)	(143,624,126)	(26,643,874)		(170,268,000)
(6)雑収益	0	0	999,764		999,764
①雑収益	(0)	(0)	(999,317)		(999,317)
②受取利息	(0)	(0)	(447)		(447)
経常収益計	279,352,551	279,352,551	47,007,141		326,359,692
2. 経常費用					
(1)事業費	279,352,551	279,352,551	0		279,352,551
①発明奨励等事業費	(158,817,425)	(158,817,425)	(0)		(158,817,425)
②事業人件費	(97,969,011)	(97,969,011)	(0)		(97,969,011)
③事業事務費	(22,566,115)	(22,566,115)	(0)		(22,566,115)
(2)管理費	0	0	41,680,100		41,680,100
①人件費	()	(0)	(8,041,497)		(8,041,497)
②事務費	()	(0)	(33,638,603)		(33,638,603)
経常費用計	279,352,551	279,352,551	41,680,100		321,032,651
当期経常増減額	0	0	5,327,041		5,327,041
[2]経常外増減の部					
(1)経常外収益					
経常外収益計	0	0	0		0
(2)経常外費用					
経常外費用計	0	0	0		0
当期経常外増減額	0	0	0		0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	0	0		0
他会計振替額	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	0	0	5,327,041		5,327,041
一般正味財産期首残高	0	0	14,054,987		14,054,987
一般正味財産期末残高	0	0	19,382,028		19,382,028
II 指定正味財産増減の部					
(1)受取寄付金	27,015,000	27,015,000	0		27,015,000
①資金寄付	(27,015,000)	(27,015,000)	(0)		(27,015,000)
(2)一般正味財産への振替額	△ 27,015,000	△ 27,015,000	0		△ 27,015,000
当期指定正味財産増減額	0	0	0		0
指定正味財産期首残高	0	0	0		0
指定正味財産期末残高	0	0	0		0
III 正味財産期末残高	0	0	19,382,028		19,382,028

財 務 諸 表 に 対 す る 注 記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような事象または状況は存在しない。

2. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

退職給付引当金: 役員退職手当金については、役員の退職手当金支給に備えるため、規則に基づく期末要支給額を計上

(2) 消費税等の会計処理

税抜方式によっている。

3. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
青少年創造特定資産	6,000,000	0	0	6,000,000
退職給付引当資産	8,250,000	5,208,333	0	13,458,333
合 計	14,250,000	5,208,333	0	19,458,333

4. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
特定資産				
青少年創造特定資産	6,000,000	(ー)	(6,000,000)	(ー)
退職給付引当資産	13,458,333	(ー)	(ー)	(13,458,333)
合 計	19,458,333	(0)	(6,000,000)	(13,458,333)

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
補助金						
平成30年度公益事業振興補助事業	公益財団法人JKA	0	28,717,783	28,717,783	0	
合 計		0	28,717,783	28,717,783	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金額
経常収益への振替額 資金寄付振替額	27,015,000
合 計	27,015,000

附 属 明 細 書

1. 特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当 期 減 少 額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	8,250,000	5,208,333	0	0	13,458,333

財 産 目 録

平成31年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)			
現 金	手元保管	運転資金として	1,400,038
預 金	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	38,088,580
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	1,000,371
	普通預金(三井住友銀行本店営業部)	運転資金として	8,221,125
	普通預金(りそな銀行東京営業部)	運転資金として	136,235
	振替貯金(ゆうちょ銀行本店)	運転資金として	2,413,794
未 収 入 金	公益財団法人 JKA他	公益目的事業に係る補助金他	32,716,311
預 け 金	小樽少年少女発明クラブ他	公益目的事業に係る運営事業費として	1,562,878
流 動 資 産 合 計			85,539,332
(固定資産)			
特定資産			
青 少 年 創 造 特 定 資 産	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	青少年創造性育成開発	6,000,000
退 職 給 付 引 当 資 産	当座預金(三井住友銀行本店営業部)	退職給付引当金見合の引当資産	13,458,333
特 定 資 産 合 計			19,458,333
その他固定資産			
その他固定資産合計			0
固 定 資 産 合 計			19,458,333
資 産 合 計			104,997,665
(流動負債)			
買 掛 金	株式会社アドヴァンス企画他	公益目的事業に係る展示設営費他	11,068,304
未 払 金	一般社団法人発明推進協会他	公益目的事業に係る出向料他	55,392,552
前 受 金	会員	公益目的事業に係る会費	4,940,000
預 り 金	芝税務署他	公益目的事業に係る所得税他	756,448
流 動 負 債 合 計			72,157,304
(固定負債)			
退職給付引当金	役員に対するもの	退職金の支払いに備えるもの	13,458,333
固 定 負 債 合 計			13,458,333
負 債 合 計			85,615,637
正 味 財 産			19,382,028

収 支 計 算 書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
[1] 経常増減の部			
1. 経常収益			
(1) 御 下 賜 金	50,000	50,000	0
(2) 受 取 会 費	32,170,000	31,050,000	1,120,000
(3) 事 業 収 益	3,560,000	3,451,366	108,634
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 収 益	(3,560,000)	(3,451,366)	(108,634)
(4) 受 取 補 助 金 等	30,644,000	28,717,783	1,926,217
① J K A 補 助 金	(30,644,000)	(28,717,783)	(1,926,217)
(5) 受 取 寄 付 金・受 取 協 賛 金 等	255,268,000	262,090,779	△ 6,822,779
① 資 金 寄 付 収 益	(15,000,000)	(24,530,000)	(△ 9,530,000)
② 協 賛 金 収 益	(50,000,000)	(40,277,779)	(9,722,221)
③ 資 金 寄 付 振 替 額	(20,000,000)	(27,015,000)	(△ 7,015,000)
④ 特 定 寄 付 収 益	(170,268,000)	(170,268,000)	(0)
(6) 雑 収 益	100,000	999,764	△ 899,764
① 雑 収 益	(100,000)	(999,317)	(△ 899,317)
② 受 取 利 息	(0)	(447)	(△ 447)
経 常 収 益 計	321,792,000	326,359,692	△ 4,567,692
2. 経常費用			0
(1) 事 業 費	289,461,000	279,352,551	10,108,449
① 発 明 奨 励 振 興 事 業 費	(166,251,000)	(158,817,425)	(7,433,575)
② 事 業 人 件 費	(96,570,000)	(97,969,011)	(△ 1,399,011)
③ 事 業 事 務 費	(26,640,000)	(22,566,115)	(4,073,885)
(2) 管 理 費	33,920,000	41,680,100	△ 7,760,100
① 人 件 費	(6,625,000)	(8,041,497)	(△ 1,416,497)
② 事 務 費	(27,295,000)	(33,638,603)	(△ 6,343,603)
経 常 費 用 計	323,381,000	321,032,651	2,348,349
当 期 経 常 増 減 額	△ 1,589,000	5,327,041	△ 6,916,041
[2] 経常外増減の部			
(1) 経 常 外 収 益	0	0	0
(2) 経 常 外 費 用	0	0	0
当 期 経 常 外 増 減 額	0	0	0
当 期 一 般 正 味 財 産 増 減 額	△ 1,589,000	5,327,041	△ 6,916,041
一 般 正 味 財 産 期 首 残 高	14,054,987	14,054,987	0
一 般 正 味 財 産 期 末 残 高	12,465,987	19,382,028	△ 6,916,041
II 指定正味財産増減の部			
(1) 受 取 寄 付 金	20,000,000	27,015,000	△ 7,015,000
① 資 金 寄 付	20,000,000	(27,015,000)	(△ 7,015,000)
(2) 一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 20,000,000	△ 27,015,000	7,015,000
当 期 指 定 正 味 財 産 増 減 額	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 首 残 高	0	0	0
指 定 正 味 財 産 期 末 残 高	0	0	0
III 正味財産期末残高	12,465,987	19,382,028	△ 6,916,041

(説明資料)

収 支 計 算 書 (資金ベース)

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:円)

No.	科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
	I 事業活動収支の部			
	1. 事業活動収入			
1	(1)御 下 賜 金	50,000	50,000	0
2	(2)会 費 収 入	32,170,000	31,050,000	1,120,000
3	(3)事 業 収 入	3,560,000	3,451,366	108,634
4	①発 明 奨 励 振 興 事 業 収 入 (	3,560,000) (	3,451,366) (	108,634)
5	(4)補 助 金 等 収 入	30,644,000	28,717,783	1,926,217
6	①J K A 補 助 金 収 入 (	30,644,000) (	28,717,783) (	1,926,217)
7	(5)寄 付 金 ・ 協 賛 金 収 入	255,268,000	262,090,779	△ 6,822,779
8	①資 金 寄 付 収 入 (	35,000,000) (	51,545,000) (	△ 16,545,000)
9	②協 賛 金 収 入 (	50,000,000) (	40,277,779) (	9,722,221)
10	③特 定 寄 付 収 入 (	170,268,000) (	170,268,000) (	0)
11	(6)雑 収 入	100,000	999,764	△ 899,764
12	①雑 収 入 (	100,000) (	999,317) (	△ 899,317)
13	②受 取 利 息 (	0) (	447) (	△ 447)
14	事業活動収入計	321,792,000	326,359,692	△ 4,567,692
	2. 事業活動支出			
15	(1)事 業 費 支 出	285,493,000	275,498,384	9,994,616
16	①発 明 奨 励 振 興 事 業 支 出 (	166,251,000) (	158,817,425) (	7,433,575)
17	②事 業 人 件 費 (	96,570,000) (	97,969,011) (	△ 1,399,011)
18	③事 業 事 務 費 (	22,672,000) (	18,711,948) (	3,960,052)
19	(2)管 理 費 支 出	32,680,000	40,325,934	△ 7,645,934
20	①人 件 費 (	6,625,000) (	8,041,497) (	△ 1,416,497)
21	②事 務 費 (	26,055,000) (	32,284,437) (	△ 6,229,437)
22	事業活動支出計	318,173,000	315,824,318	2,348,682
23	事業活動収支差額	3,619,000	10,535,374	△ 6,916,374
	II 投資活動収支の部			
	1. 投資活動収入			
24	(1)特 定 資 産 取 崩 収 入	0	0	0
25	投資活動収入計	0	0	0
	2. 投資活動支出			
26	(1)特 定 資 産 支 出	5,208,000	5,208,333	△ 333
27	投資活動支出計	5,208,000	5,208,333	△ 333
28	投資活動収支差額	△ 5,208,000	△ 5,208,333	333
29	当期収支差額	△ 1,589,000	5,327,041	△ 6,916,041
30	前期繰越収支差額	8,054,987	8,054,987	0
31	次期繰越収支差額	6,465,987	13,382,028	△ 6,916,041

以上の通り相違ありません。

令和元年5月16日

公益社団法人 発 明 協 会

会 長 野 間 口 有

平成30年度事業報告書及び財務諸表について監査した結果、いずれも適正かつ適法であることを認めます。

令和元年5月16日

監査役 梶 原 徳 二

監査役 安 井 義 博